

PRESS  
RELEASE

2025年12月23日

**重心移動と骨格検出の可視化でゴルフ市場に向けた実証開始  
ゴルフスイング可視化システム「INGRAVITY®」が  
フジクラゴルフクラブ相談室に試験導入  
～AI×センサー技術で分析、ゴルフのパフォーマンス向上に貢献～**

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、株式会社アールアンドアールフジクラ（本店：東京都品川区、代表取締役：若林雅貴）が運営するフジクラゴルフクラブ相談室 大阪店（大阪府箕面市）において、開発中のゴルフスイング可視化システム「INGRAVITY」が試験導入されたことをお知らせいたします。今回の試験導入は、同店でのテスト運用における評価結果を踏まえ決定されたものです。



INGRAVITY センサー  
(設置後)



INGRAVITY を用いた  
ゴルフレッスンの様子

当社は、コアコンピタンスである「高分子材料技術」を応用した新製品の創出を推進しています。当社独自の「スマートラバー（SR）センサ」は、医療・介護領域で活用されており、圧力を検知して重心変化を可視化できる技術です。この技術をスポーツ分野の中でも重心コントロールが重要となるゴルフに応用することで、フォーム改善やパフォーマンス向上に貢献できると考え、「INGRAVITY」の開発を進めています。



使用イメージ（アプリ画面）

## ■ 「INGRAVITY」の主な特長

### ・重心移動と骨格検出の統合可視化

足圧分布を測定するセンサーと、骨格検出を行うAIカメラを組み合わせ、スイング時の重心移動・重心のブレ・骨格動作をリアルタイムで可視化します。録画機能にも対応しており、スイング後の動作確認や指導にも活用できます。

### ・既存スタジオへの設置が容易

足圧分布センサーはゴルフマット下に配置する方式を採用しており、モーションキャプチャ装置を必要としません。既存設備に容易に組み込めるうえ機器操作も少ないため、導入・運用の負担を軽減します。

### ・従来のスイング環境との違和感が少ない

足圧分布センサーは厚さ約6mmと薄い素材で構成されており、ゴルフマット下に設置することで、従来と比較してもスイング時の違和感が少なく、自然な使用感を損ないません。

当社グループは、経営ビジョン「2029年 住友理工グループ Vision」で掲げる「持続可能な社会に向けた価値づくり」を推進しています。今後も、技術の進化・融合による新たな価値創出を目指し、スポーツ分野・健康増進領域における製品開発・事業展開を加速させてまいります。

※ 「INGRAVITY」は住友理工株式会社の登録商標です。

以上

リリースに関するお問い合わせ先  
**住友理工株式会社**

広報IR部／〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋  
tel 052-571-0259 e-mail [product.info@jp.sumitomoriko.com](mailto:product.info@jp.sumitomoriko.com) <https://www.sumitomoriko.co.jp/>